



202203XX

揚げ浸し///申着玉子
Twitter///@kincyakutamago





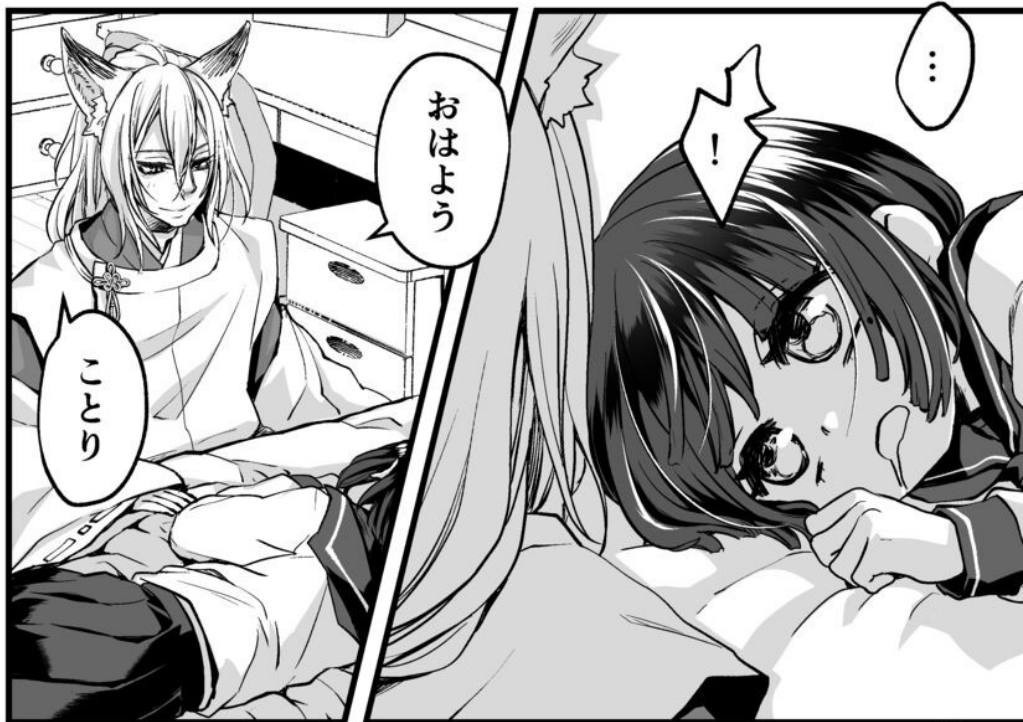


大好きか

嬉しいことを
言ってくれるなあ



うちは…



おはよう

ことり



ねっ

寝顔は見ないで
欲しいって〜っ

あああ…
よだれも
出てるうっ

はは

スマンスマン
可愛いので
ついな



何でも昔
川の氾濫だか
土砂崩れだか
起きたときに

神通力を使って
助けてくれたお狐様に
大層感謝したという
ご先祖様が…



御狐様の為に
社を建てて
祀る、と約束
したんだそうだ



我が家は

代々お狐様を
祀る家系である



そして

さあことり

今日も
稽古をしようか

十日後の
誕生日…

私は
このお狐様に
嫁ぐことが
決まっている

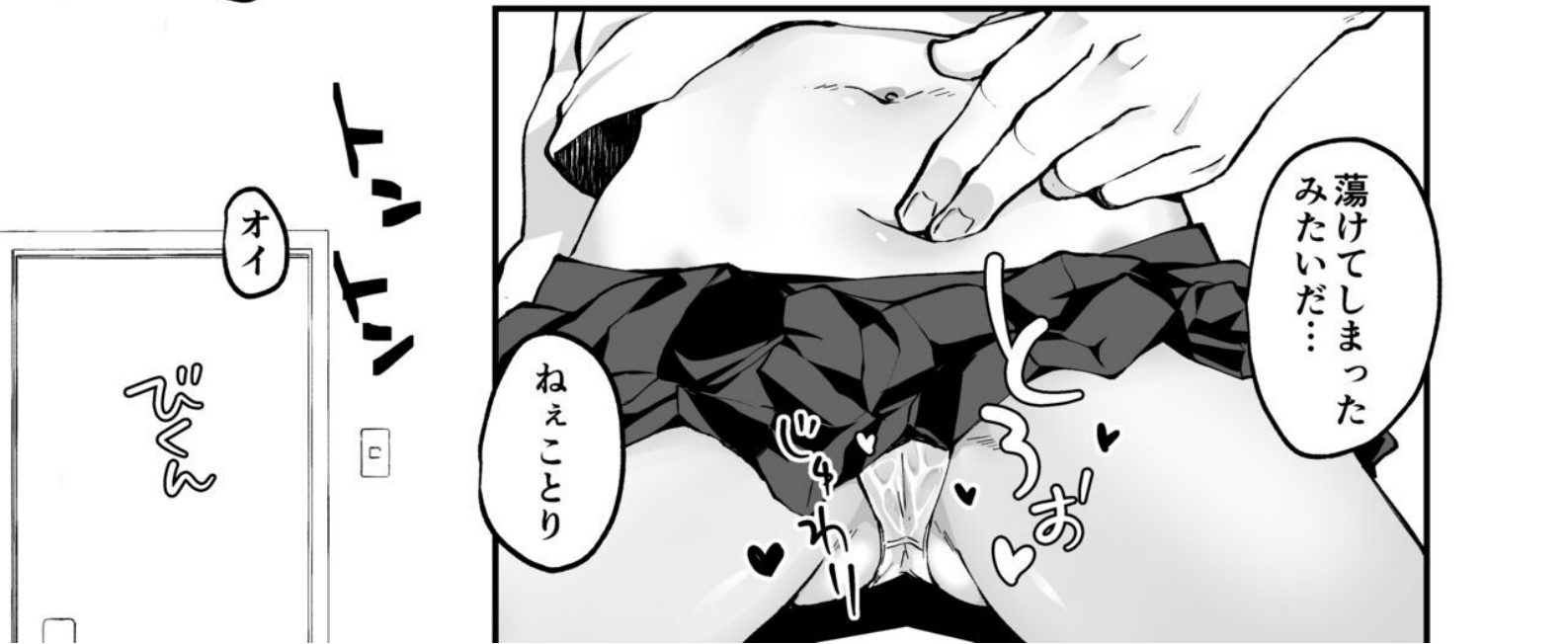
ん

ふ

は、

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡





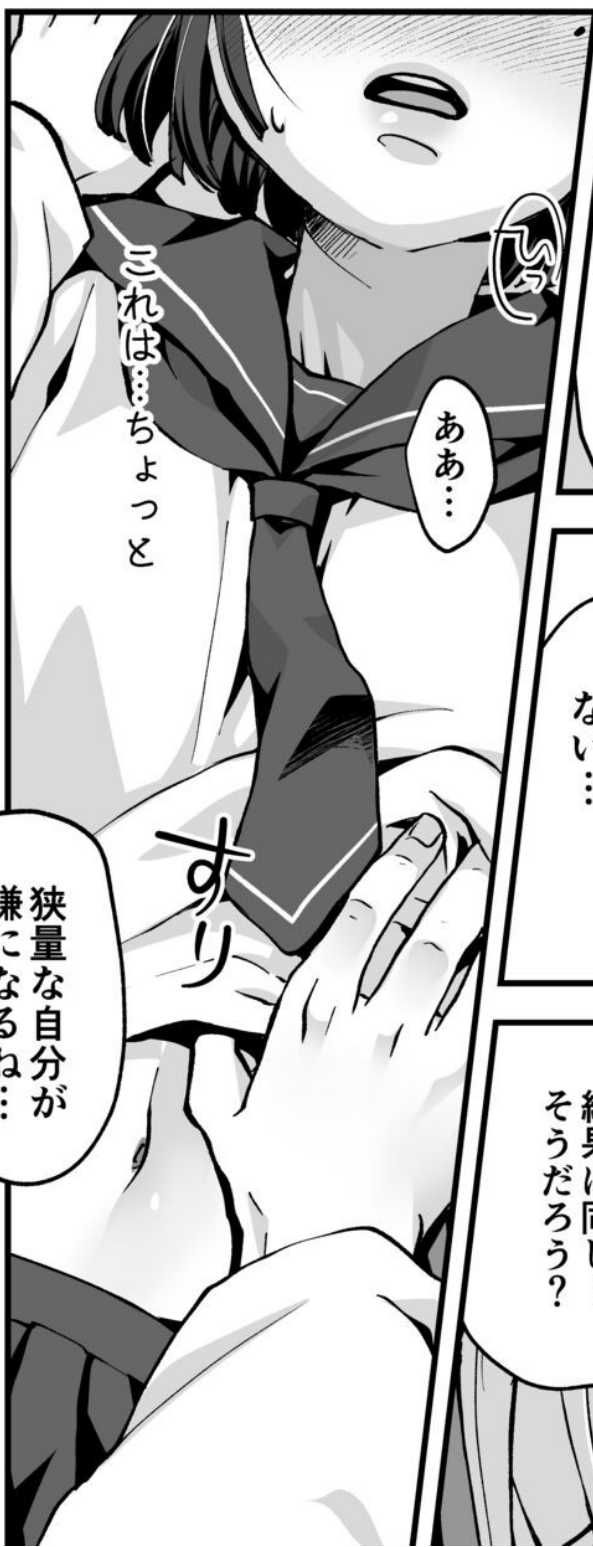








松葉を誘惑する
なんて…
いつからそんな
悪い子に
なったんだい？



これは…ちよっと

あぁ…

すり

狭量な自分が
嫌になるね…



そんな…

すりりり

うん

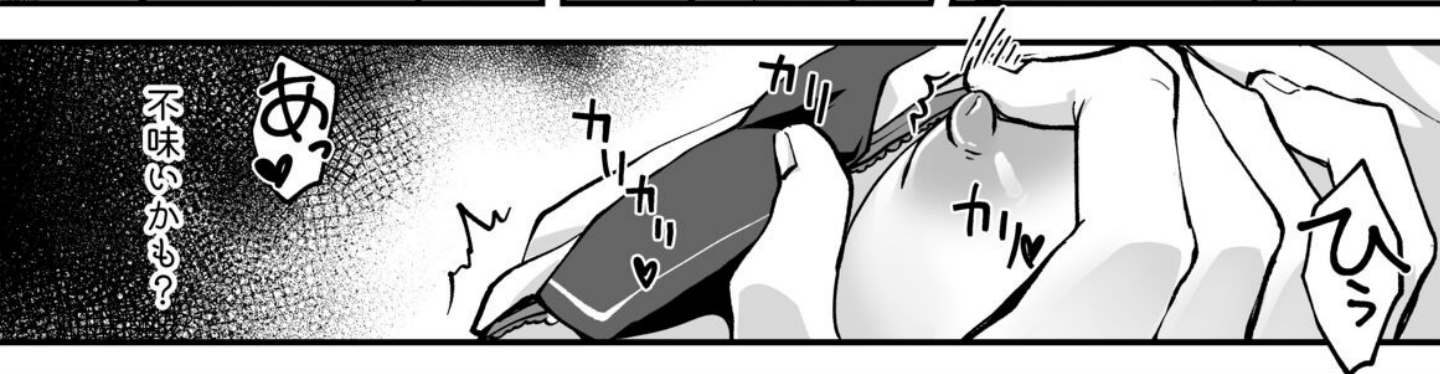
分ってる、
わざとじゃあ
ない…

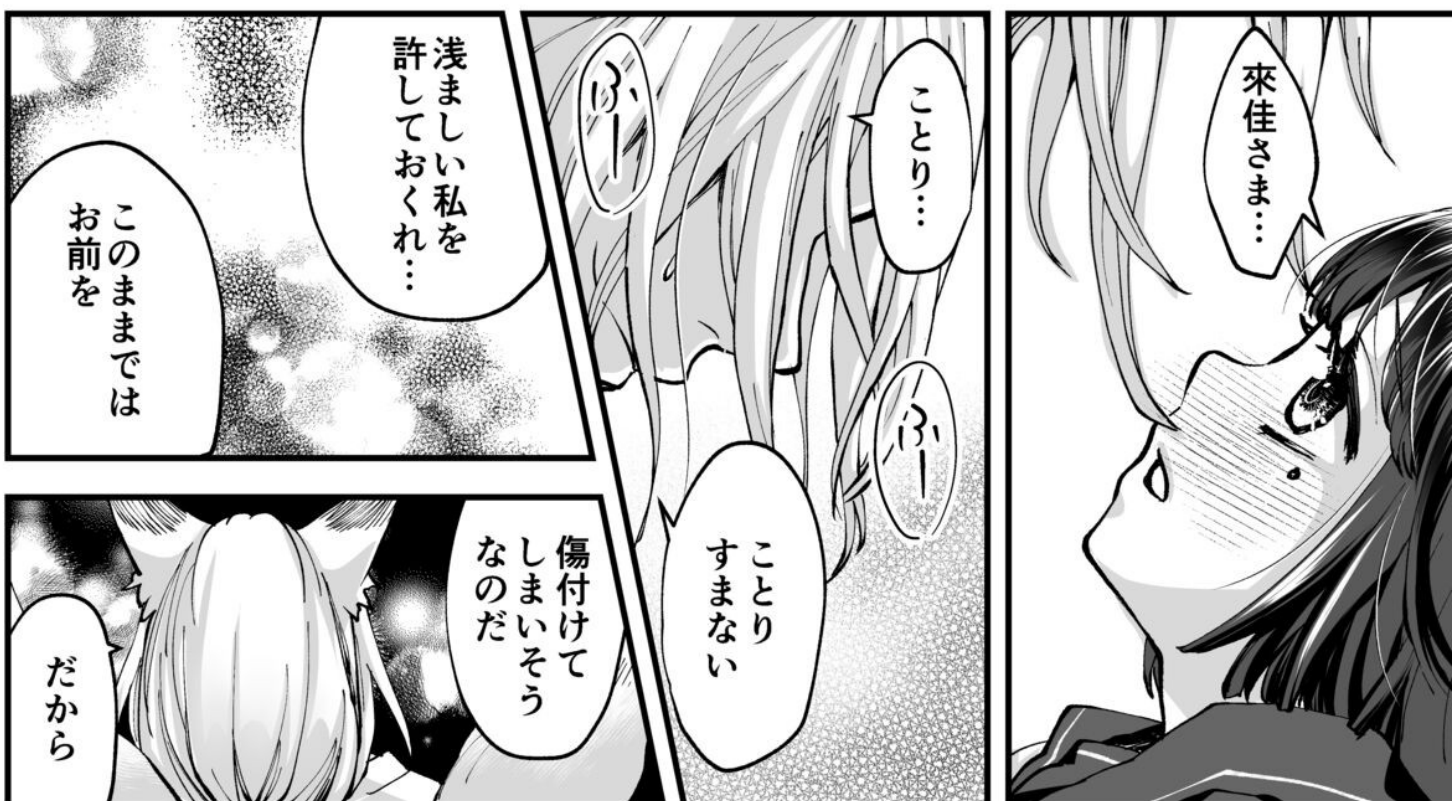


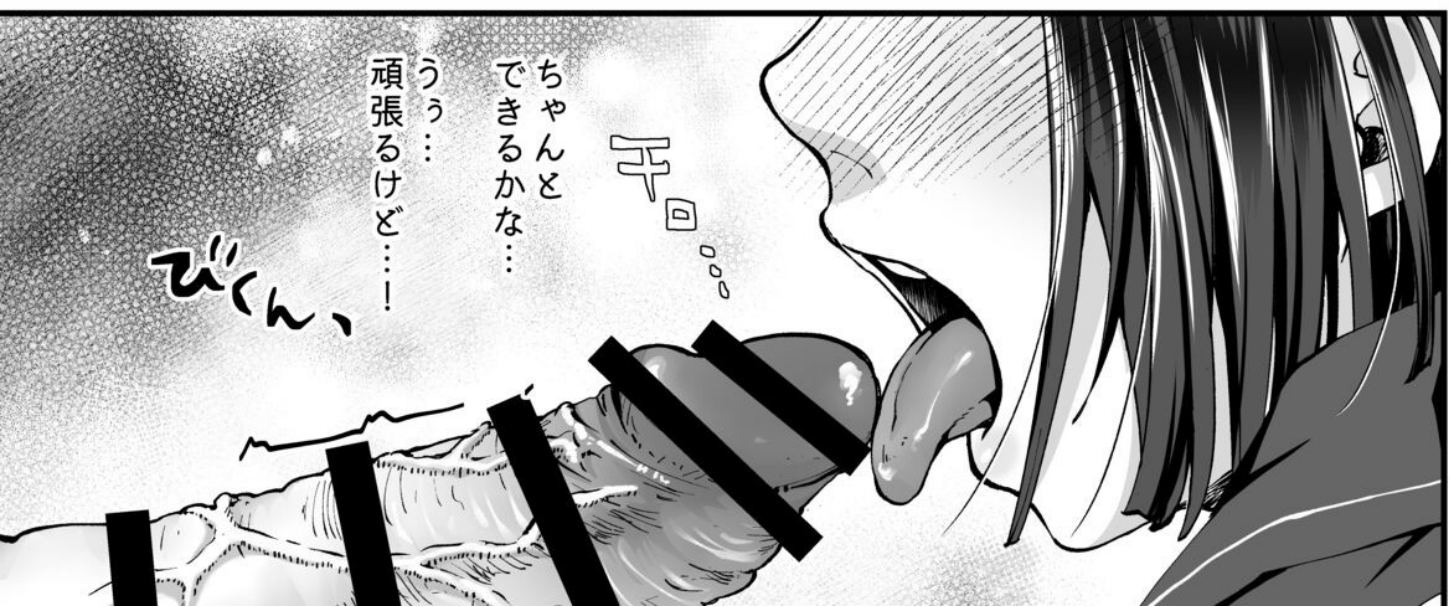
でもね

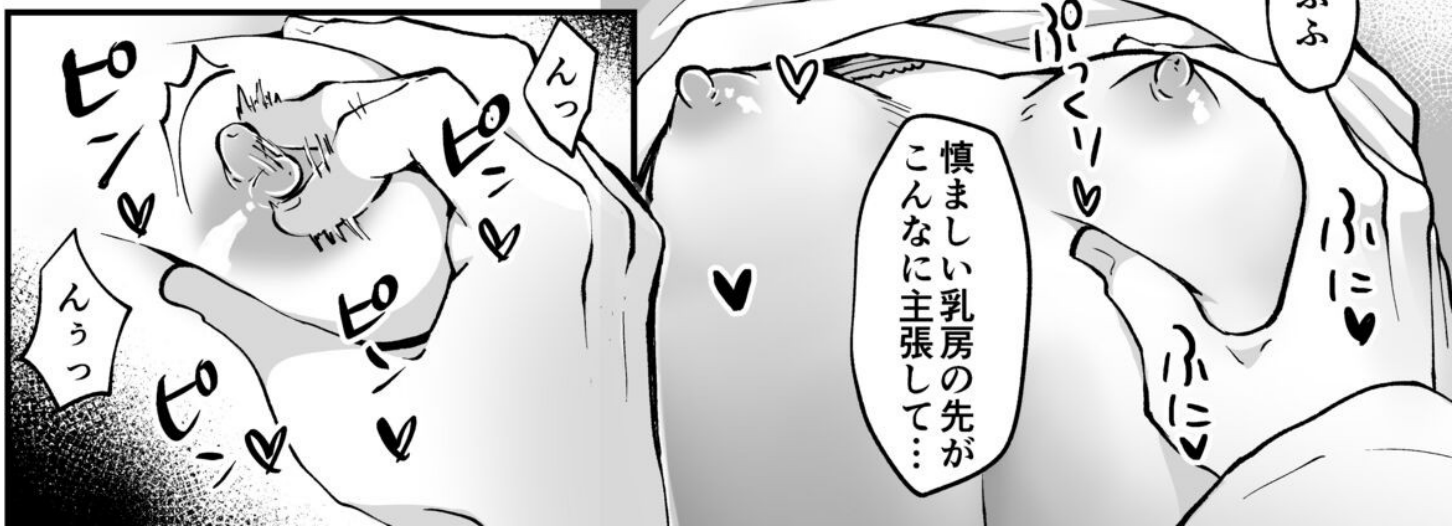
んっ

結果は同じ…
そうだろう？











びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

つは...

びしょ

潮が漏れてきておるぞ♡

!!

まずい...

ああつすまないことり

あああことり!!

びしょ



あれは一体
何をなさって
おいでで？

儀式まで
自分を鎮めるん
だつてよ

姉ちゃん
気絶した
らしいしな

はあ…

ことりは
まだ幼い
ですし…
時期尚早では
ありませんか…？

あと十日
などと…

オレだって
そう思う
けどさ

本人が
大丈夫って
言うから

…
なんで



仕方ない
でしょう
主様が望み
なんですから…

私だって
どうかと
思いますよ

てか普通に
疑問なん
だけど…

何で来佳さまは
姉ちゃんが
いいんだ？



何で
姉ちゃん
何だろ

普通の…

なんの取柄もねえ
どんくさいのじゃ

来佳さまの
嫁なんて
務まんねーだろ？



ほら
あなたの方の
祖先の…

えっ
何だそれ
そんなの誰でも
いいのと同じ
じゃねーか



つまり
初代のこと
好きだった
のか？
来佳さま…

うわー

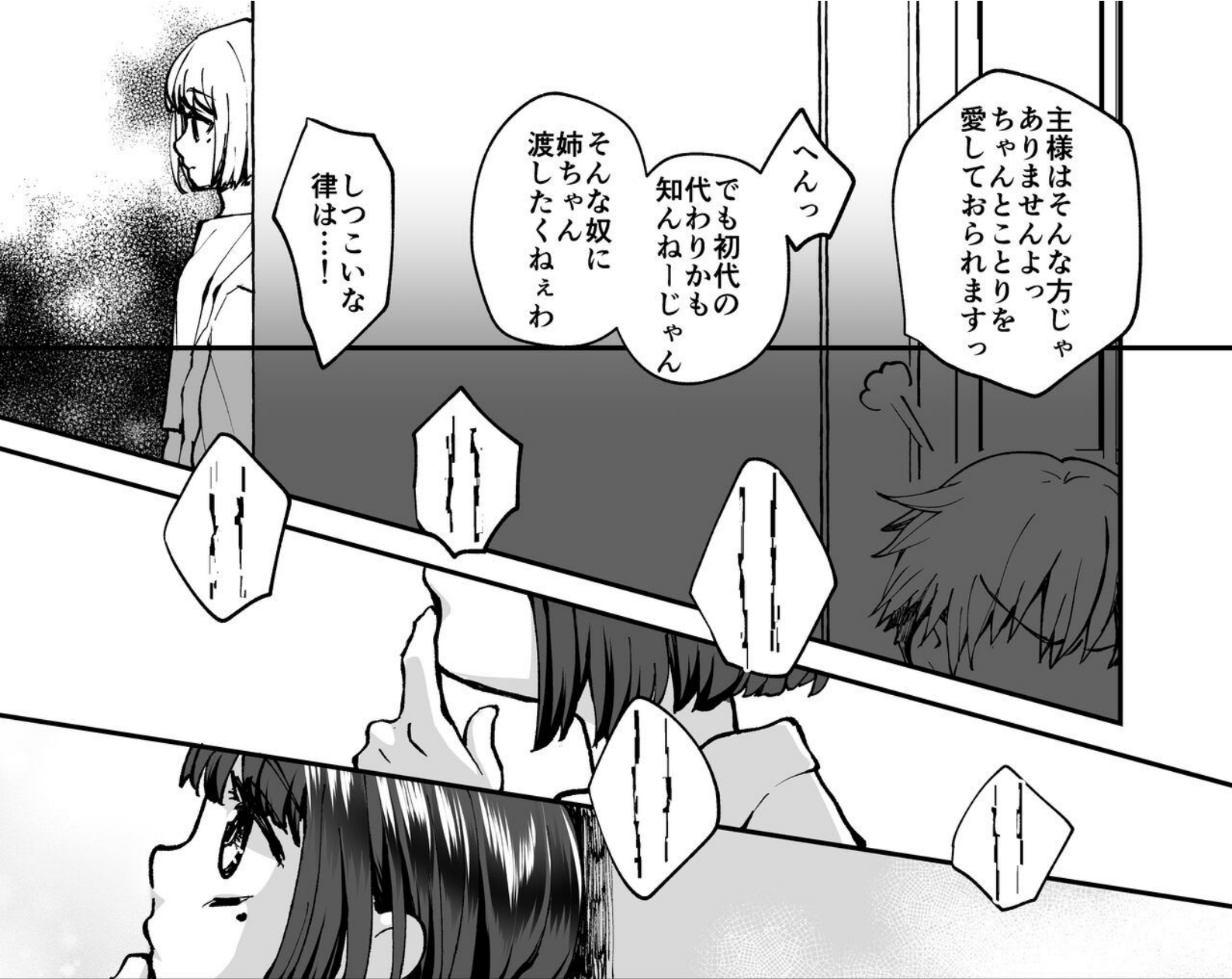
何ですか！

さいてー



えーっと…
確か

魂が似ている
そうですね…



主様はそんな方じゃ
ありませんよっ
ちゃんとこりを
愛しておられますっ

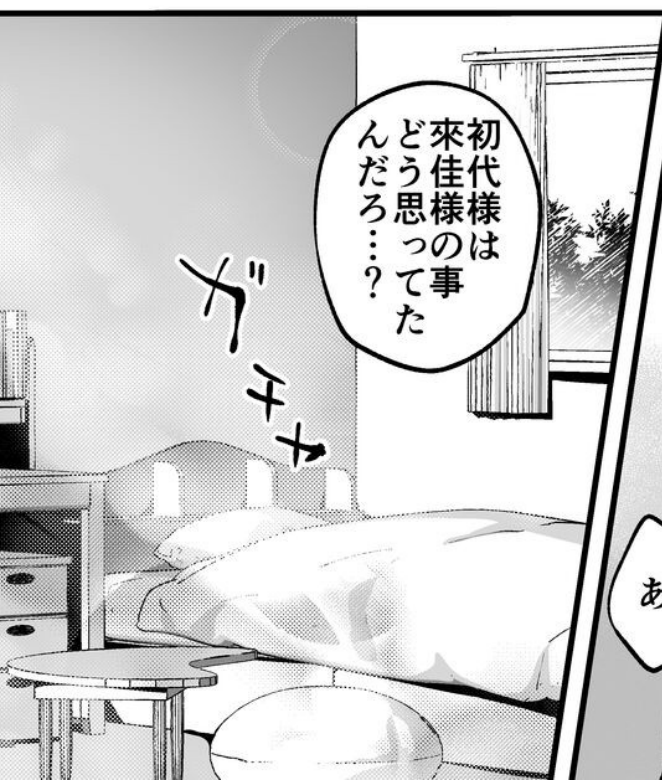
へんっ

でも初代の
代わりかも
知んねーじゃん

そんな奴に
姉ちゃん
渡したくねえわ

しつこいな
律は……!!

初代様？



初代様は
来佳様の事
どう思ってた
んだろ……？

グ
チ
ナ

私が来佳様を
大好きだって
事も
変わりは
しないけど……

あ



来佳様の一番が
私じゃないかも……なんて
考えたこともなかった
注がれる愛情を
今更疑ったりは
しないし……

初代様と來佳様って
どんな関係
だったんだろ？

きっと仲良し
だったよね…

それに…

私…もしかしたら
來佳様の事
全然知らないのかな

なのに…
それなのにあと九日も
会えないの？

ボン

れんしゅう
—しなきや…

すり…

あ…

來佳様の匂いがする

來佳様…

はぁっ

私の部屋…

來佳様の匂いで
いっぱいだよ

んう

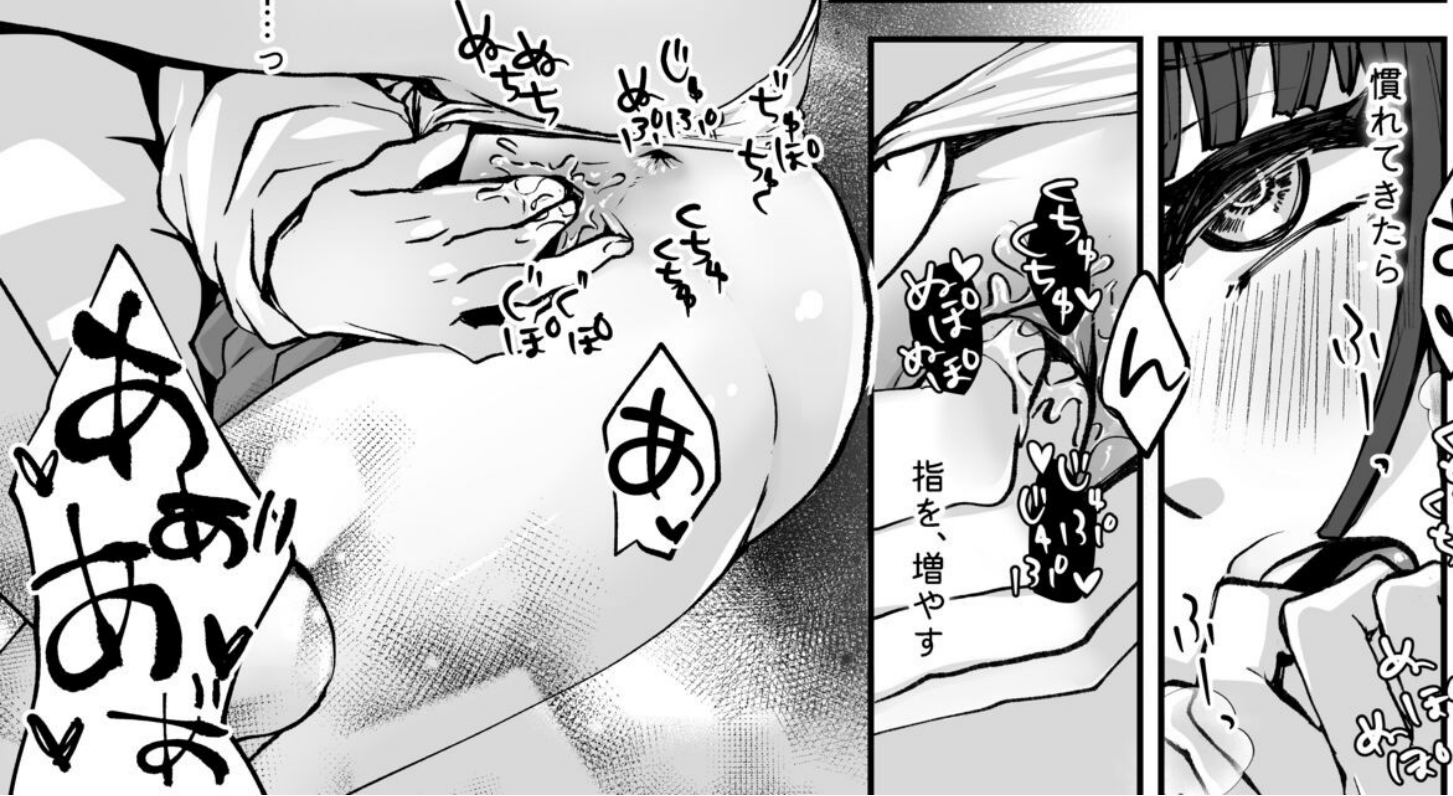
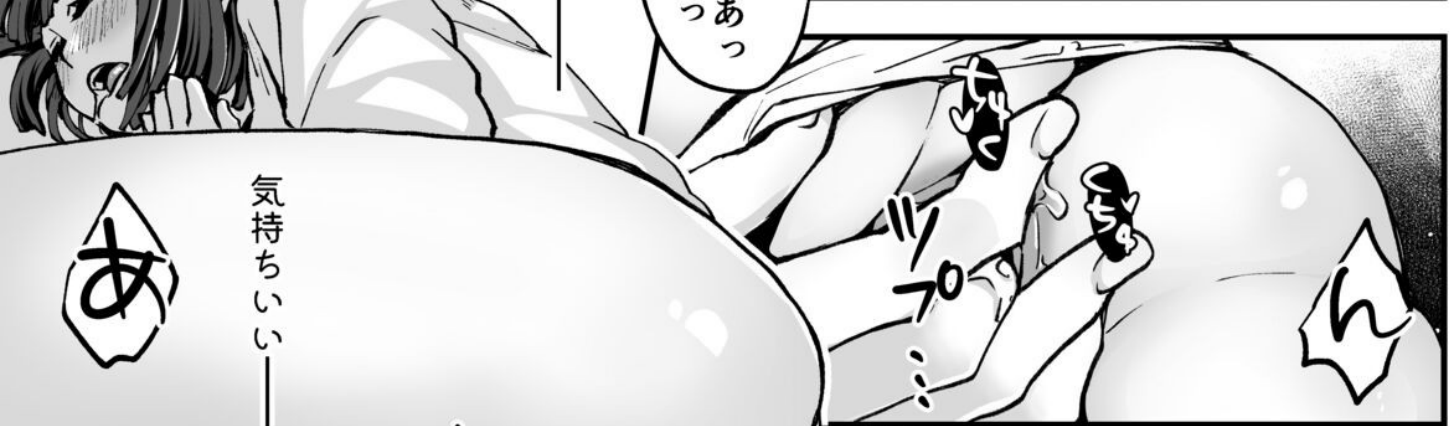
はっ

ふ

はっ

ん

すり♡
♡に♡
♡に♡





分かつては
いるでしょうが

主様から呼気を
頂くまで
言葉を発しては
いけませんよ

狭間から
戻れなく
なります
からね

ことり：
貴女はまだ幼い

不安なことも
あるでしょう

我ら眷属は
貴女の味方で
います：

だから：
自信を
持ちなさい

ことり

主様を：
来佳様を
よろしく
お願いします

松葉君

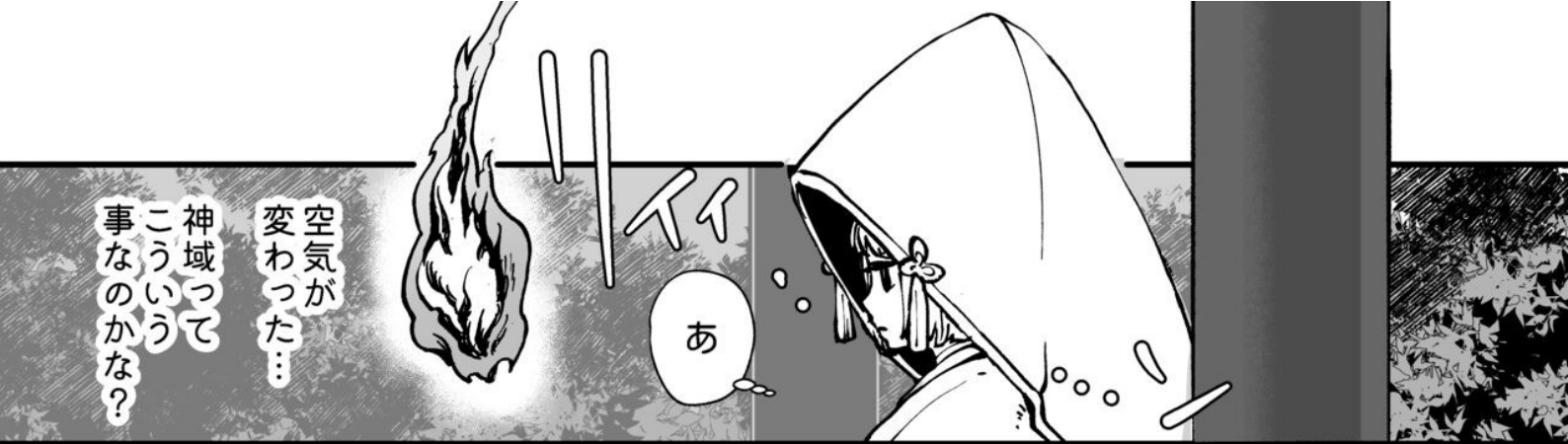
ありがとう…

着きましたよ

ここからは
あなた一人で
行きなさい

大丈夫

主様が貴女を
無下に扱う
ようなことは
あり得ません



空気が
変わった！
神域って
こういう
事なのかな？

アイ

あ



來佳様

ねえ
來佳様

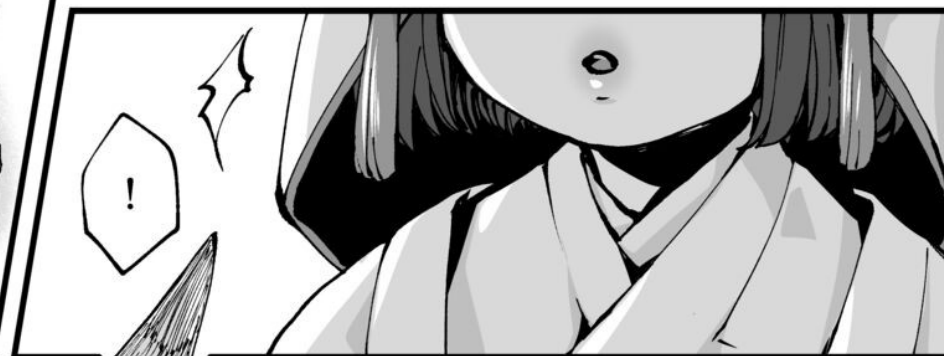
たった十日が
こんなに
長かったんだ



数日考えたけど
全然考えが
纏まらなかった

結局私に
分かった
ことなんて

來佳様がいないぎや
ダメになっちゃう
ってことくらい



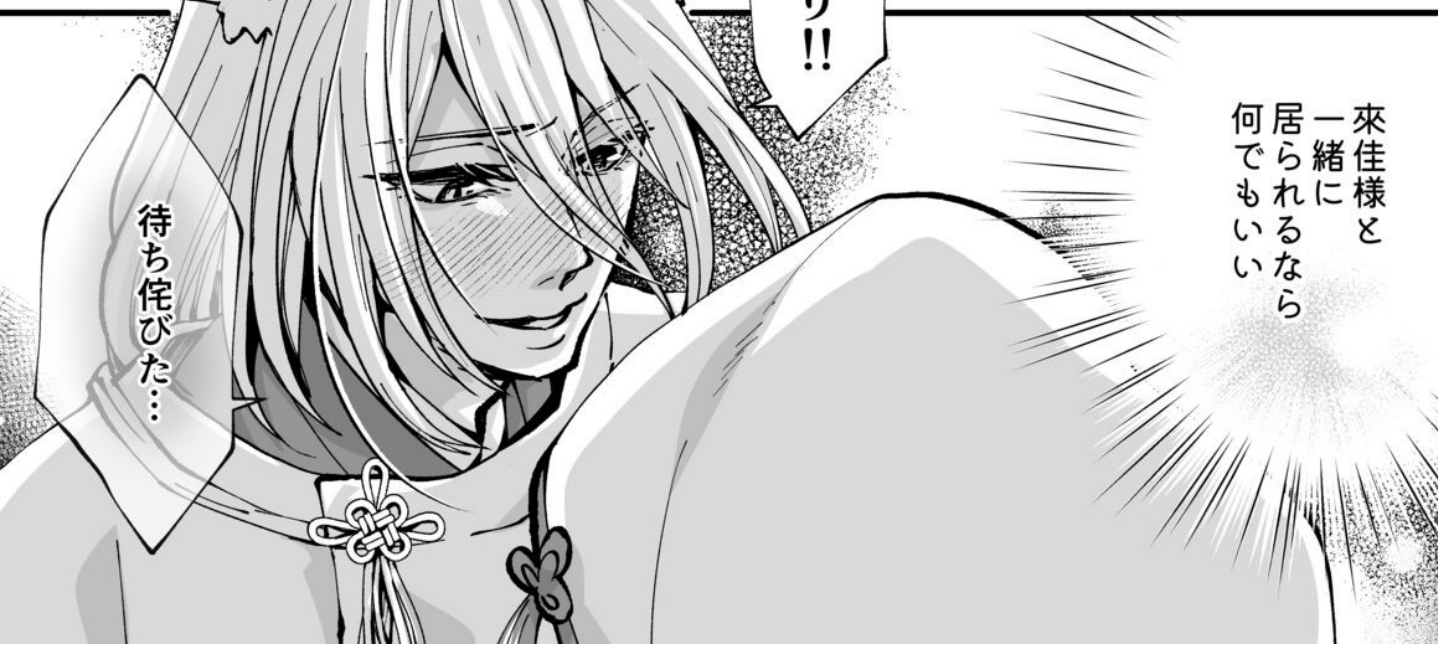
！



だから
私

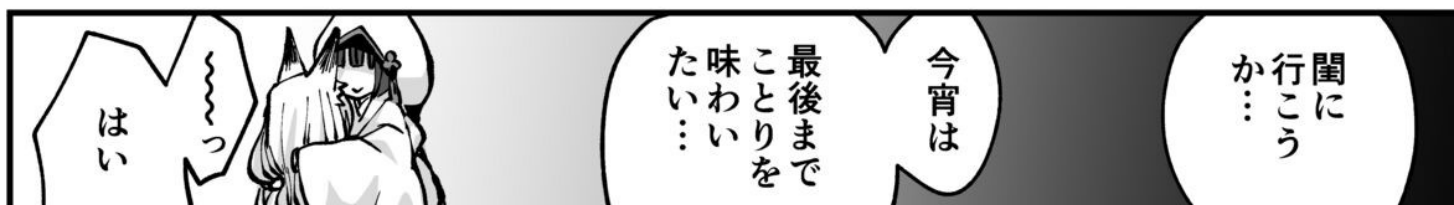
タッ

ことり！！



來佳様と
一緒に
居られるなら
何でもいい

待ち侘びた！





：何故
そんな誤解が
生まれた
のかな？

違うん
です??

ふふ…
あやつに恋か…
奇異なことを
考えるものだ

私が

恋を
しているのは

ことり…
お前だけだよ

カ
70
カ70

それにしても
まだ私の気持ち
を疑っていたのか？

困った子だね

やっぱり
ことりには
『オシオキ』が

ふあっ

必要なのかな？





かわいいなあ
大丈夫…♡

ふふ…粗相は
しておらぬ♡

潮を吹いたのは
初めてだったな…

ぬぎ

ほらほら
へばるには
まだ早いぞ

あっ

…よいな？

そろそろ
其方の中に
入りたい…

ずず

うん…

♡



なんでえ？
まだ
するの？

可愛いのも
ことり

気付いて
おらぬのか？

我はまだ
達して
おらぬぞ？

あ

やあ

達する際には

我は
狐だからなあ

根元が
膨れてな…

そうそう
抜けは
せんのだ

ふふ
安堵せよ♡

少々量が
多くて…

時を要する
だけじゃ♡



中を刺激は
できるからなあ

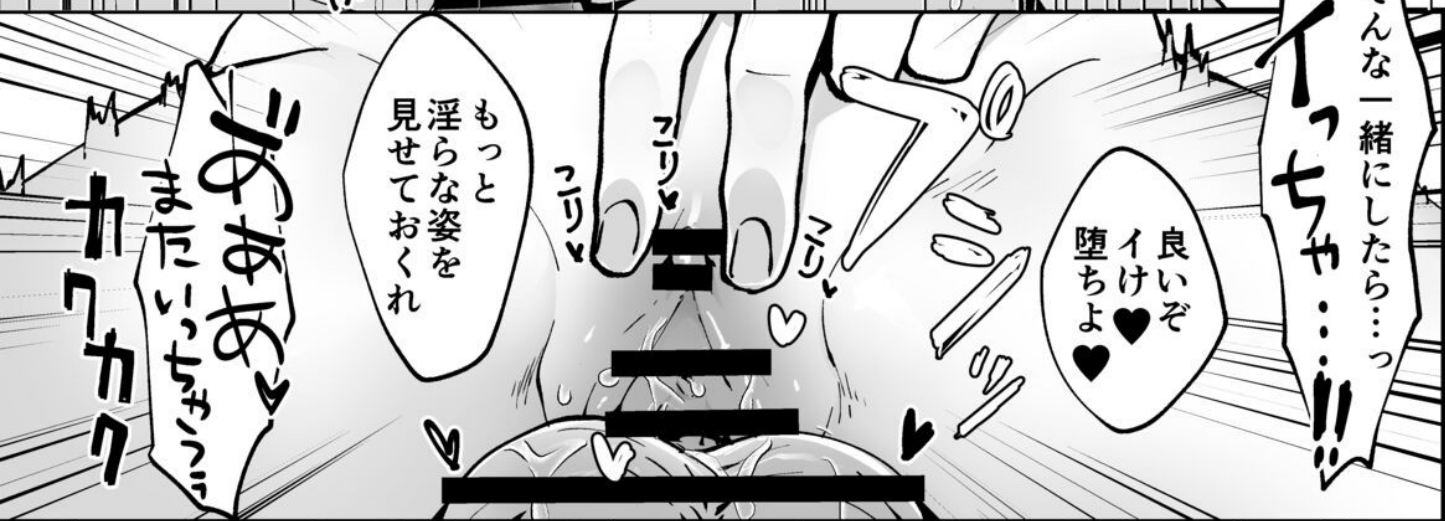
…っ
こうなれば
激しくは
動けぬが

グリ
グリ

ぬ
ちちち…

み
ぢぢ

ほら
ことりの
「気持ちイイ」が
集まるココ…
よくよく
弄ってやろうな

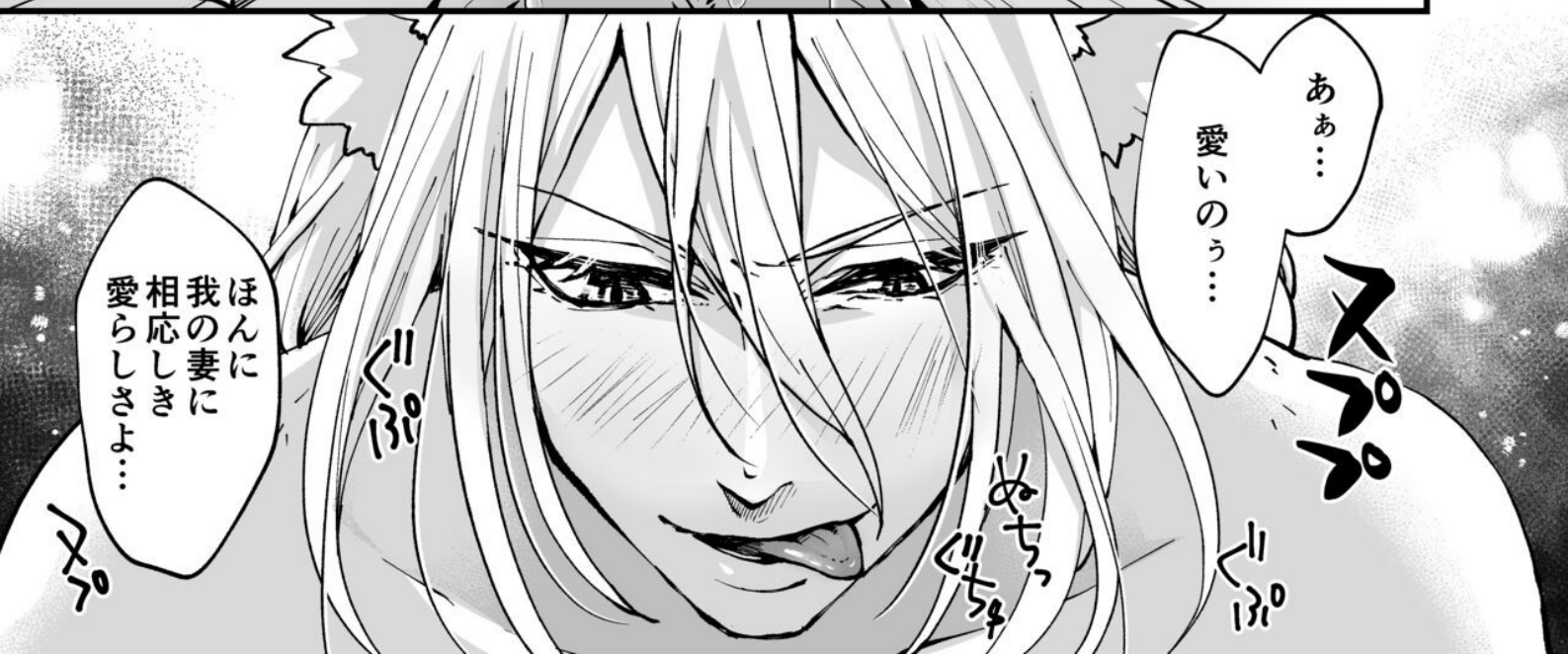


そんな一緒にしたら…っ
イ
ちちち…!!

良いぞ
イけ♥
堕ちよ♥

もっと
淫らな姿を
見せておくれ

カク
カク
またいっすん



ああ…
愛いのう…

スッ

ほんに
私の妻に
相応しき
愛らしさよ…

ぬ
ちちち

スッ



ん
あ
あ
あ

ド
ン
ド
ン

……っ
すまぬが
このまま
暫く出続ける
からな……っ

……とり

ああっ
またもや……

何という
……っ

くっ……
止まらぬ
のだ

すまぬ
ことり……っ



らいかさま…？

…っ

ん



らいか様
…寝顔は見ちゃ
ダメだって

もう…

サラ…

！

ふふ



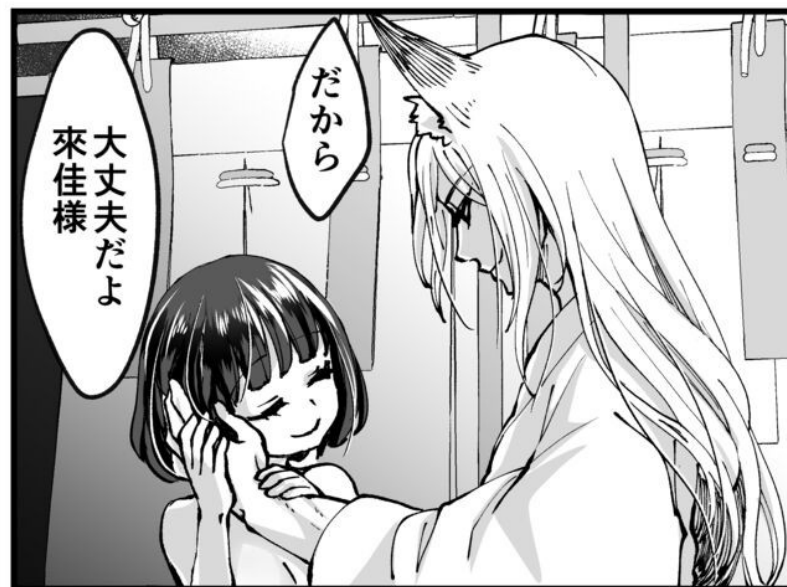
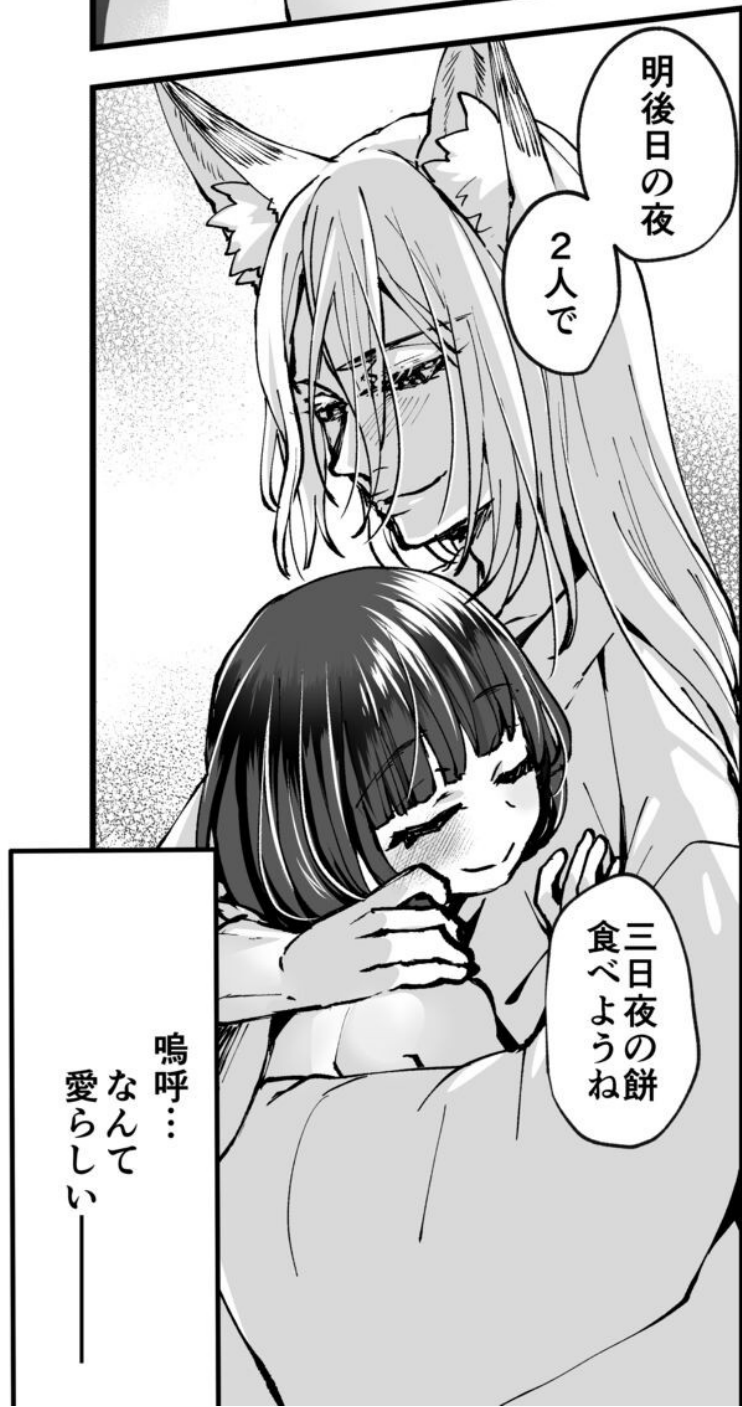
その…
儀式はあと
2日あるが
本当に
大丈夫か？



ん、
大丈夫です



すまない
愛らしくて
ついな



ああ
可愛い可愛い
私のことり

こんなにも全身で
愛を伝えてくれる…

この日の為だけに私は…

この子が
生まれ落ちた
その日から
ずっとずっと
愛の芽を
育ててきたのだ…

お前達が信じる
この地の成立ちが
偽りだと知ったら
お前はどんな顔を
するだろうか

災害を齎した妖を
土着の神と共に
この地に封じたのが
お前達の祖先…
そしてその妖こそが
私なのだ

強い力を有する私を
完全に封じることが
出来なかった男は
土地神を立ち合いとして
賭けを持ち掛けた

これから
我が一族が
其方をこの地に
封じ、祀ろう

其方が真に心を預けられる
相手の心を手にしたならば
此処から解放してやろう

はは

案外俺の
子孫からお相手が
出るやも
しれんぞ

うっけめ

そんなわけ
あるまいよ

そして



一目見た瞬間に
理解した

…この子だと

…私は
この子に
出会う為だけに
この世に生を
受けたのだと



賭けなど
脳裏に
残る事もない



お前の成長を
見守ることが
出来る幸福



この子さえ
居れば
他の全ては
細事でしかない



そうしたければ
生まれ落ちたその時に
神域へ連れ帰れば
良かったのだから

——それでも



ねえ
ことり

あんたの大好きな
ライカ様って神様…
なんだよね？

来年の誕生日に
嫁に行くって—

大丈夫だよな？
イケニエ…とかじゃ
無いよね？

かわいい

かわいい

ことり

全てに

愛される

ことり

それでもね、
ことり

私はお前を
独り占めしたいんだ

お前を愛する喜び
そして
愛される幸せ

それを邪魔させはしないさ

あのね…
昨日の事だけど…
生贄とかじゃ
ないからね！

ええ!?

生贄え？
私そんなこと
言ったっけ？

あれ？
皆守に
告るんじゃ
なかったの？
うん
なんか
勘違いだった
のかも？

なぜか
今朝起きたら
なんか
醒めてたわ

わあん
らいかさまあ
こうたくん
わたしと
もう
遊ばない
ってっ

おやおや

かわい
そうに
じゃが
ことりには
我が居る
からな

障害は排除
せねばならん

ことり

ことり

ことり

——愛しい私の神嫁——

來佳様

泣いてる？

どうしたの？

ああ…

嬉しくてな

ことりが…
私のものが…
なる事が…





お前がそうして
私を愛して
くれるから…

私はお前の
愛する者達の
天命が尽きるまで
待つ事が出来る

そうして二人に
…二人きりに
なったなら



この神域で
永遠に過ごそう

愛してるよ ことり

ことりの先祖に封じられた來佳様は
祀られたことでがつりランクアップ。
その後なんやかんやあって土地神の地位に納まっています。

ぶっちゃけ封じられた当時とは比べようもないレベルで
強くなってるので封印は解こうと思えば解ける感じでした。

暇つぶしも兼ねて修行を重ねつつ運命の相手(笑)の出現を
待ってたらことりが生まれてズキュ〜〜ン♥

ことりの為にも悪狐にはなるまいと
誰かを直接傷付ける様な悪さはしていない。

が、それなりに色々やらかしてはいる。



ことりは小さいころから
大事に大事に愛してくれる來佳様を
盲目的にそれこそ洗脳レベルで大好き。
だからと言って余裕で反抗もするし
ケンカもするのである程度は健全な
関係を築いている。

因みにちびことりが
ぶん投げてた白へびもそれなりに
力のある妖だったりするけど
狐によって守備力マジなことりには
全く歯が立たないのである…。

最後まで読んでいただき有難うございます。
來佳様の裏事情のあたりが駆け足になりすぎて色々残念ですが
描きたかったイチャイチャは描けたので満足！

…といいつつ、もっと尻尾とか管狐とか色々やりたかったなあ…

揚げ浸し：巾着玉子
Twitter：@kincyakutamago